



# 平成29年3月期 決算説明資料

(平成28年4月～平成29年3月)

平成29年5月12日



証券コード:1905

会社概要	3～4ページ
平成29年3月期 決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)	10ページ
平成30年3月期の業績予想(連結)	11ページ
連結売上高予想	12ページ
投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(24/3期から30/3期)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(25/3期から30/3期)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

## 経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、  
建築・土木構造物をお使いになれる全ての人々に、  
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、  
お客様のご要望にお応えしてまいります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	昭和45年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 菱山 保
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 171名 (連結) 258名 ※平成29年3月31日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社) (株)テノックス技研、(株)複合技術研究所 (非連結子会社) TENOX ASIA COMPANY LIMITED(ベトナム)

# 会社概要



グループ会社名	事業内容
(株)テノックス (当社)	<b>基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売</b> (主な工法) 杭工事 : TN-X工法、ガンテツパイル工法、 NSエコパイル工法、ATTコラム工法 地盤改良工事 : テノコラム工法 地盤補強工法 : ピュアパイル工法
(株)テノックス技研	(株)テノックスに対する機材の賃貸を含む施工協力
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

# 平成29年3月期 決算の概要(連結)



- 売上高：民間住宅や商業施設工事が増加したものの、東北地区の震災復興関連工事が落ち着いたことにより減収
- 利益：売上高の減収に加え、施工効率の高かった大型工事が減少したことにより減益

■売上高	182億26百万円	前年同期比 △16億3百万円(△8.1%)
■営業利益	10億62百万円	前年同期比 △9億円(△45.9%)
■経常利益	12億24百万円	前年同期比 △6億80百万円(△35.7%) ✓ 持分法による投資損益は改善したものの営業利益が減益となったことによる
■親会社株主に帰属する 当期純利益	8億86百万円	前年同期比 △3億70百万円(△29.5%) ✓ 主に経常利益の減益による
■受注高	183億円	前年同期比 +21億7百万円(+13.0%) ✓ 主に民間の物流施設などの杭工事が増加
■受注残高	63億52百万円	前期末比 +5億50百万円(+9.5%) ✓ 建築工事において、物流施設・文化施設などの大型物件を受注

# 連結損益計算書の概要



(単位:百万円、%)

	28/3	売上高比	29/3	売上高比	前年同期比	
売上高	19,830	—	18,226	—	△1,603	△8.1%
売上原価	16,296	82.2%	15,432	84.7%	△864	△5.3%
売上総利益	3,533	17.8%	2,794	15.3%	△739	△20.9%
販売費及び 一般管理費	1,570	7.9%	1,732	9.5%	+161	+10.3%
営業利益	1,962	9.9%	1,062	5.8%	△900	△45.9%
経常利益	1,905	9.6%	1,224	6.7%	△680	△35.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,257	6.3%	886	4.9%	△370	△29.5%

# 連結貸借対照表の概要



- 流動資産: 現金預金が増加
- 固定資産: 施工機械の取得による増加があるものの、投資有価証券が減少
- 流動負債: 未払法人税等や仕入債務が減少

(単位: 百万円、%)

	28/3末	29/3末	前期末比	
流動資産	13,807	14,290	+482	+3.5%
固定資産	2,673	2,489	△184	△6.9%
資産合計	16,481	16,780	+298	+1.8%
流動負債	5,552	5,225	△326	△5.9%
固定負債	590	532	△58	△9.9%
負債合計	6,143	5,758	△384	△6.3%
純資産合計	10,338	11,021	+683	+6.6%
(自己資本比率)	(61.2%)	(64.0%)	(+2.8ポイント)	—

# 連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

	28/3	29/3	当期の主な要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	+1,738	+983	税金等調整前当期純利益 減価償却費	+12億14百万円 +4億48百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△354	△133	投資有価証券の売却による収入 有形固定資産の取得による支出	+3億70百万円 △5億52百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△187	△257	配当金の支払額	△2億3百万円
現金及び現金同等物 の増減額	+1,196	+592		
連結範囲の変更に伴 う増減額	△708	-		
現金及び現金同等物 の期末残高	6,560	7,153		

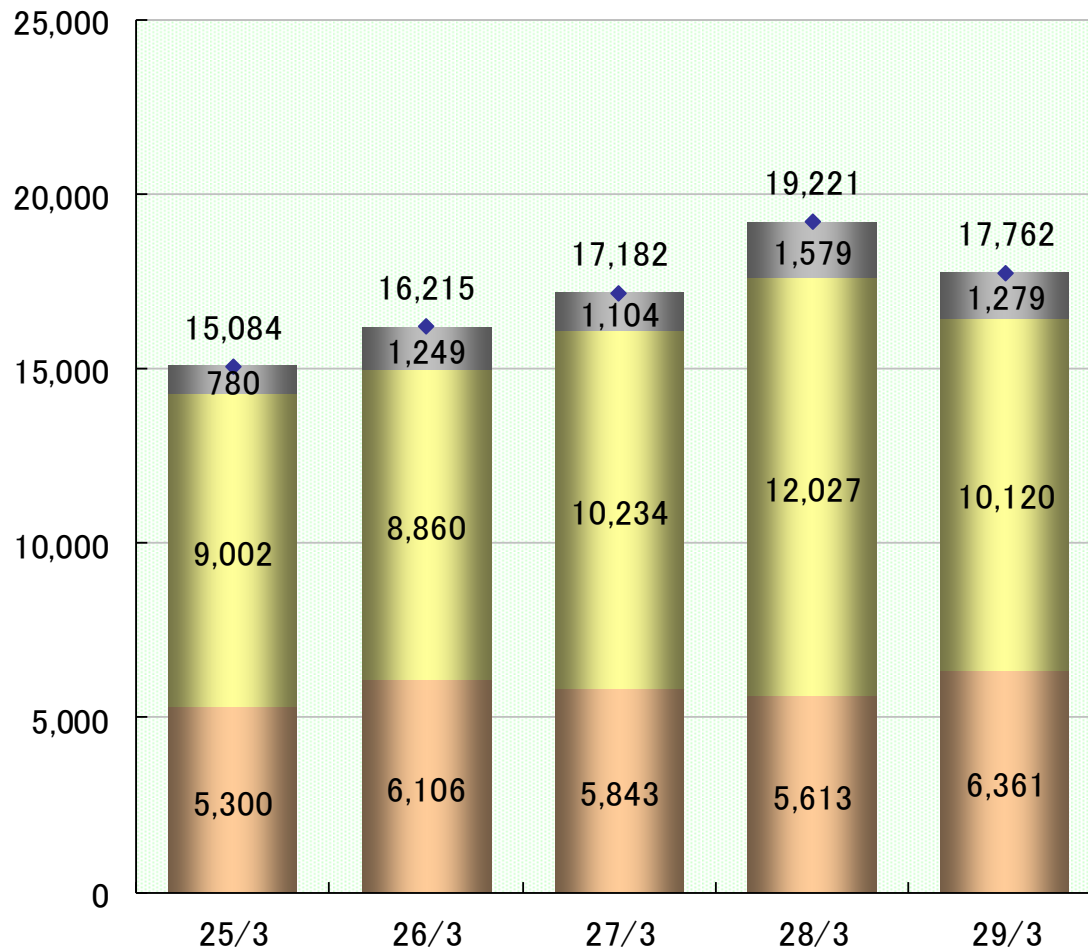


# 売上高の推移(単体)



(単位: 百万円)

■ 地盤改良工事 ■ 杭工事 ■ その他 ◆ 計



## ➤ 杭工事:

主に東北地区の震災復興関連工事が落ち着いたことにより、19億7百万円の減収

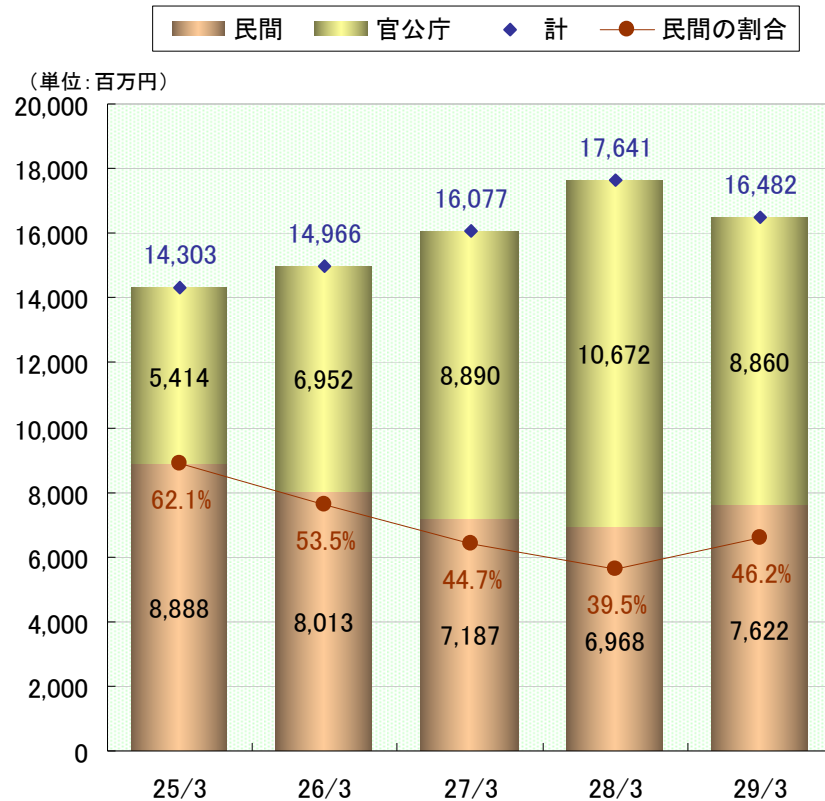
## ➤ 地盤改良工事:

主に民間住宅や商業施設工事が増加したことにより、7億48百万円の増収

# 売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)

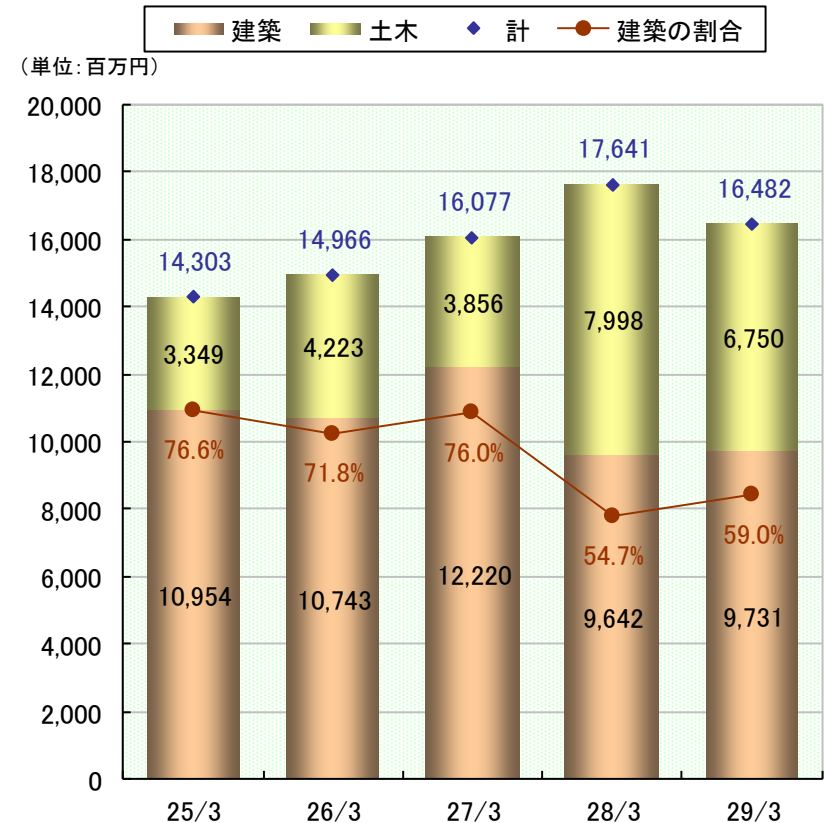


## 民間vs官公庁の推移(単体)



- 民間は、住宅や商業施設などが増加
- 官公庁は、震災復興関連や物流施設などが減少

## 建築vs土木の推移(単体)



- 建築は、文化施設などが増加、物流施設が減少
- 土木は、震災復興関連などが減少

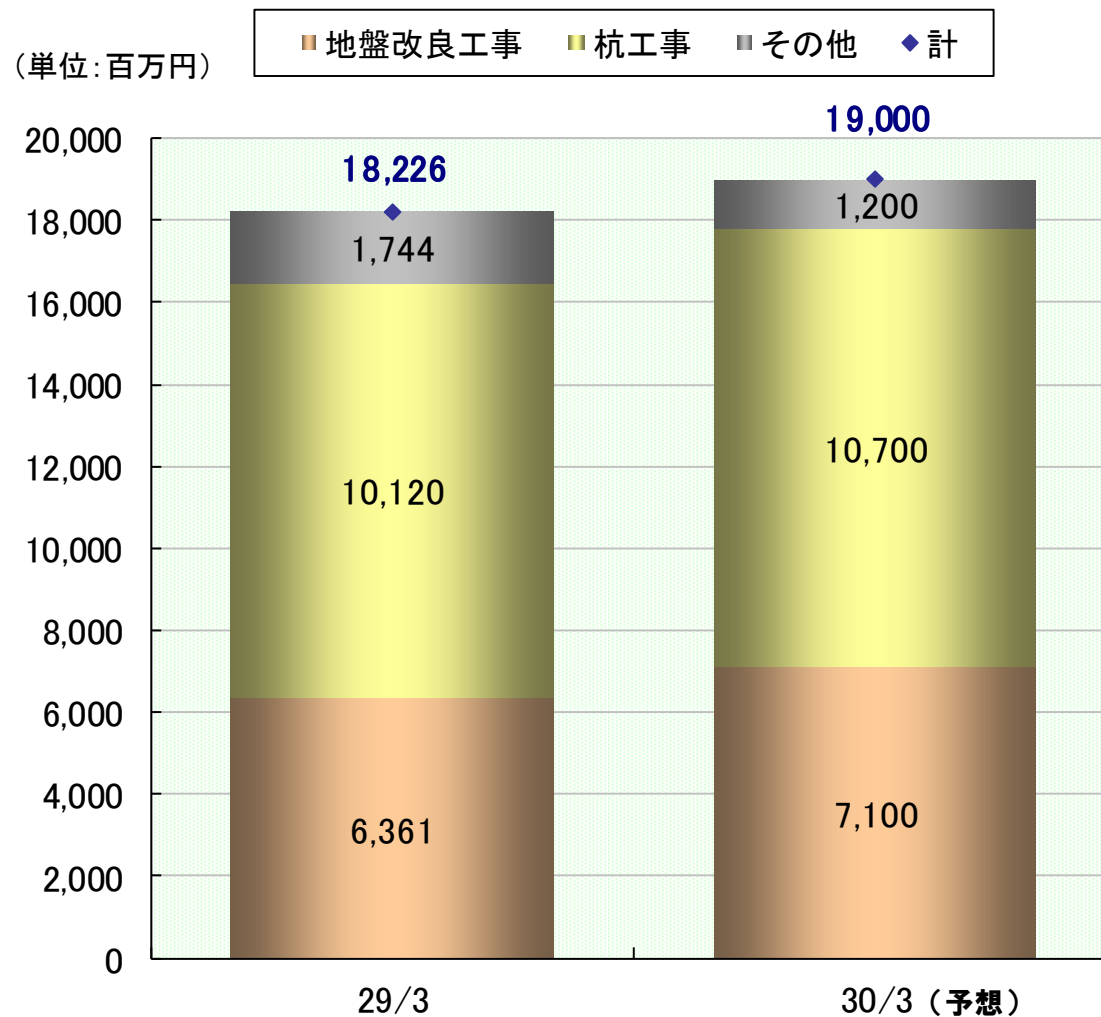
# 平成30年3月期の業績予想(連結)



- 売上高: 物流施設などの杭工事が増加
- 利益: 研究開発費用等が増加するものの、売上総利益の増加で吸収

■売上高	《予想》 190億円	29/3期比 +7億73百万円(+4.2%)
■営業利益	《予想》 12億円	29/3期比 +1億37百万円(+13.0%)
■経常利益	《予想》 12億50百万円	29/3期比 +25百万円(+2.0%) ✓ 持分法による投資損益がなくなるものの営業利益の増益による
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 9億円	29/3期比 +13百万円(+1.5%) ✓ 経常利益の増益による

# 連結売上高予想



- **杭工事:**  
主に物流施設関連工事が増加
- **地盤改良工事:**  
主に大型の民間工場関連工事が増加

# 投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 5億円	29/3期比 $\Delta 92$ 百万円( $\Delta 15.6\%$ ) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億円	29/3期比 $+1$ 億4百万円( $+26.3\%$ ) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 1億90百万円	29/3期比 $+1$ 億32百万円( $+233.2\%$ ) ✓ 主に保有工法の付加価値向上、施工管理装置の高度化
■従業員数	《予想》 178人	29/3期比 7人増

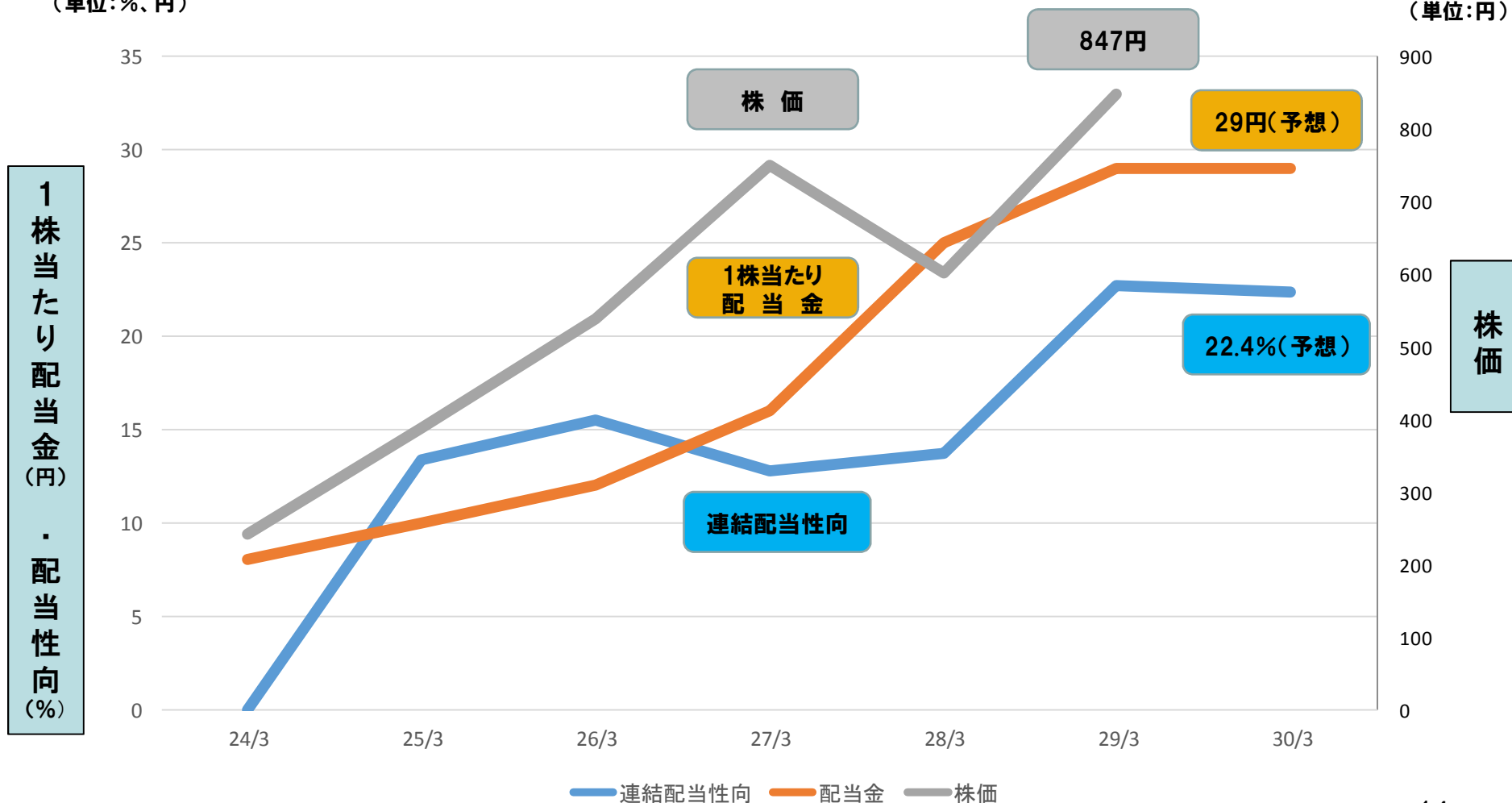
# (ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(24/3期から30/3期)



配当金については、当該期の業績や財政状態に加え中期的な見通しも勘案しつつ、  
連結配当性向 20% から 30% を目安に実施

(単位:%、円)

(単位:円)

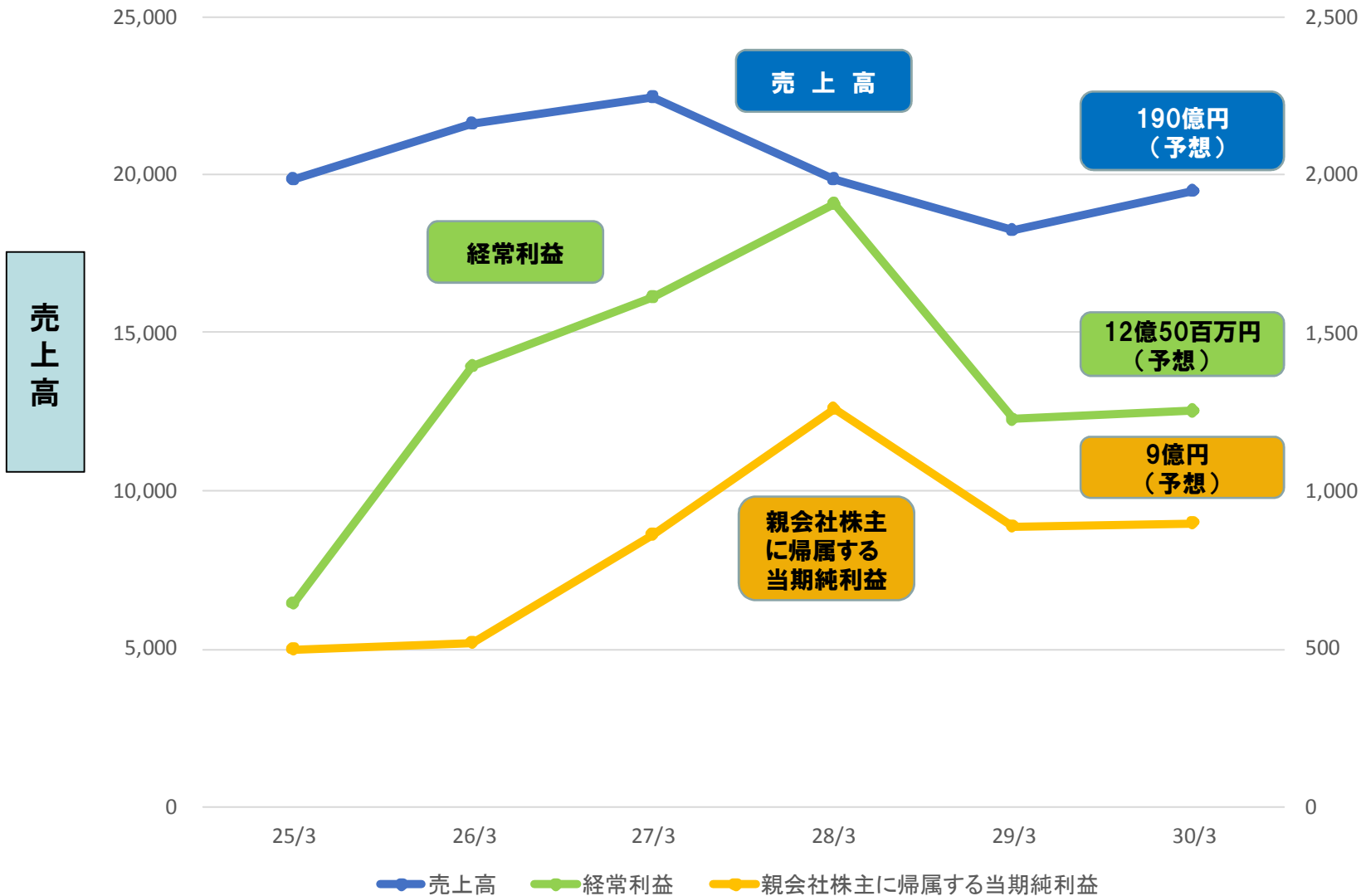


# (ご参考)連結業績推移 (25/3期から30/3期)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

# (ご参考)連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3	28/3	29/3	30/3 (予想)
売上高	26,164	20,338	16,448	17,628	19,829	21,601	22,427	19,830	18,226	19,000
売上原価	23,551	17,860	15,155	16,042	17,338	18,305	18,834	16,296	15,432	
売上総利益	2,613	2,478	1,293	1,585	2,491	3,295	3,593	3,533	2,794	
販売費及び 一般管理費	2,409	2,075	2,092	1,877	1,946	1,981	2,051	1,570	1,732	
営業利益	203	402	△799	△291	544	1,314	1,541	1,962	1,062	1,200
経常利益	250	404	△786	△299	644	1,394	1,610	1,905	1,224	1,250
(経常利益率:%)	(1.0)	(2.0)	(△4.8)	(△1.7)	(3.2)	(6.5)	(7.2)	(9.6)	(6.7)	(6.6)
税金等調整前 当期純利益	258	555	△886	△310	639	1,420	1,633	1,900	1,214	
親会社株主に帰属する 当期純利益	120	231	△735	△327	498	521	861	1,257	886	900
(純利益率:%)	(0.5)	(1.1)	(△4.5)	(△1.9)	(2.5)	(2.4)	(3.8)	(6.3)	(4.9)	(4.7)
	21/3 期末	22/3 期末	23/3 期末	24/3 期末	25/3 期末	26/3 期末	27/3 期末	28/3 期末	29/3 期末	30/3 期末(予想)
純資産	8,598	8,832	7,751	7,329	7,825	8,822	9,814	10,338	11,021	11,720
総資産	17,552	15,606	14,542	14,669	14,949	16,436	16,910	16,481	16,780	17,500



環境と共存し、確かな技術力で  
社会と暮らしを支える



ホームページ: <http://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画情報推進部 IRグループ

<http://www.tenox.co.jp/contact/ir.html>

電話: 03-3455-7758